

会 社 名 AI メカテック株式会社
代表者名 代表取締役執行役員社長 阿部 猪佐雄
(コード番号：6227 東証スタンダード)
問合せ先 上席執行役員経営企画部長 米田 達也
(TEL 0297-62-9122)

当社グループは、このたび2025年8月8日に公表いたしました中期経営計画を見直すことといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画見直しの背景

これからの「超スマート社会」への移行に向け、半導体・空間コンピューティング技術の更なる進化と、それに対応する先端半導体や光学系デバイス等の需要拡大が予想される中、当社グループは、第一次中期経営計画（2026年6月期から2028年6月期）を策定し、2025年8月8日に公表いたしました。

現在、半導体分野では、A I インフラ需要の拡大を受け、A I 用先端半導体向けに積極的な設備投資が続いています。このような事業環境のもと、同半導体パッケージ向けテンポラリーボンダー・デボンダー等が策定時の想定を上回る売上水準で推移する見込みであることから、2026 年 6 月期実績も踏まえ、当該中期経営計画に掲げるテーマ及び期間目標等の見直しを行いました。概要は次のとおりです。

2. 中期経営計画見直しの概要

(1) 今次中期経営計画のテーマ

「グローバルニッチトップのポジション確立と、売上高450億円・営業利益率20%・ROE30%以上の達成」

（２）今次中期経営計画の期間目標

① 定性目標

変更なし

② 定量目標

	2025年8月8日 公表		今般見直し	
	2026年6月期 (初年度)	2028年6月期 (最終年度)	2026年6月期 (実績)	2028年6月期 (最終年度)
売 上 高	250 億円	300 億円	352 億円	450 億円
営 業 利 益	25 億円	38 億円	58 億円	90 億円
営業利益率	10%	12%	16.5%	20%
R O E	14%	17%	28.1%	30%以上

※本資料に記載されている戦略、目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

中期経営計画

説明資料

2026年8月7日

A I メカテック株式会社

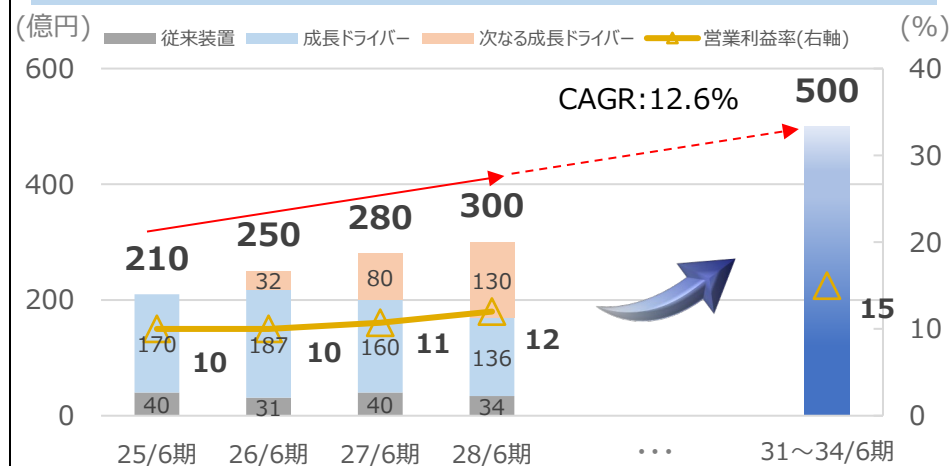
先進・革新技術で未来を創造

第一次中期経営計画（26/6～28/6期）見直し概要

- ・2026年6月期実績にて売上高352億円、営業利益率16.5%と、当初の中計最終年度目標を達成
- ・中計期間中のA I用先端半導体向け投資拡大継続と、「次なる成長ドライバー」立ち上がり見通しを踏まえ、定量目標を見直し
 - －最終年度売上高450億円・営業利益率20%、「ありたい姿」実現タイミングを次期中計期間中へ前倒し
 - －2026年6月期実績と翌期以降の見通しを踏まえ、R O E 目標、キャッシュフローを見直し

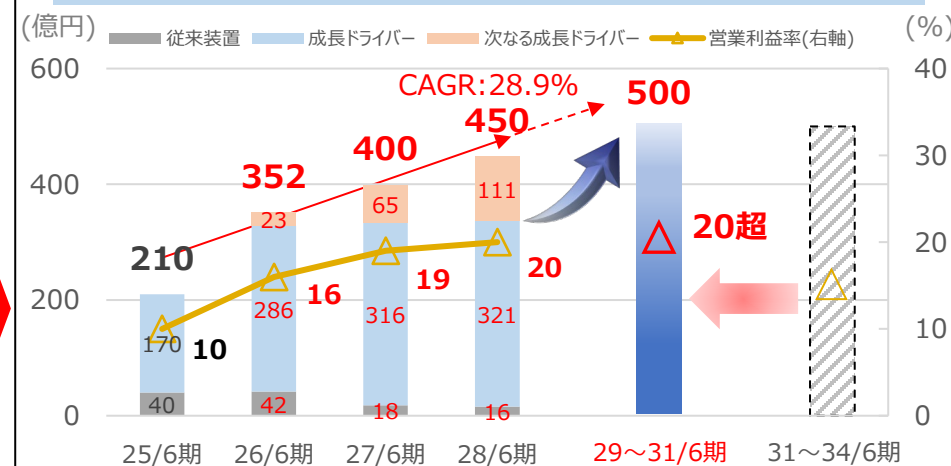
【中期経営計画（現行）】

【ありたい姿】売上高500億円・営業利益率15%以上を目指す



【中期経営計画（見直し）】

【ありたい姿】売上高500億円・営業利益率20%超を目指す



売上高（セグメント別）・収益指標（単位：億円）

	2025/6期	2026/6期	2027/6期	2028/6期
売上高	210	250	280	300
半導体関連	195	200	202	207
I J P / L C D	15	50	78	93
営業利益（率）	21(10.0)	25(10)	32(11)	38(12)
R O E（%）	3.1	14	16	17

売上高（セグメント別）・収益指標（単位：億円）

	2025/6期	2026/6期	2027/6期	2028/6期
売上高	210	352	400	450
半導体関連	195	312	360	388
I J P / L C D	15	40	40	62
営業利益（率）	21(10.0)	58(16.5)	76(19)	90(20)
R O E（%）	3.1	28.1	30以上	

※「次なる成長ドライバー」「成長ドライバー」「従来装置」の装置群分類は本資料P7ご参照

【目次】

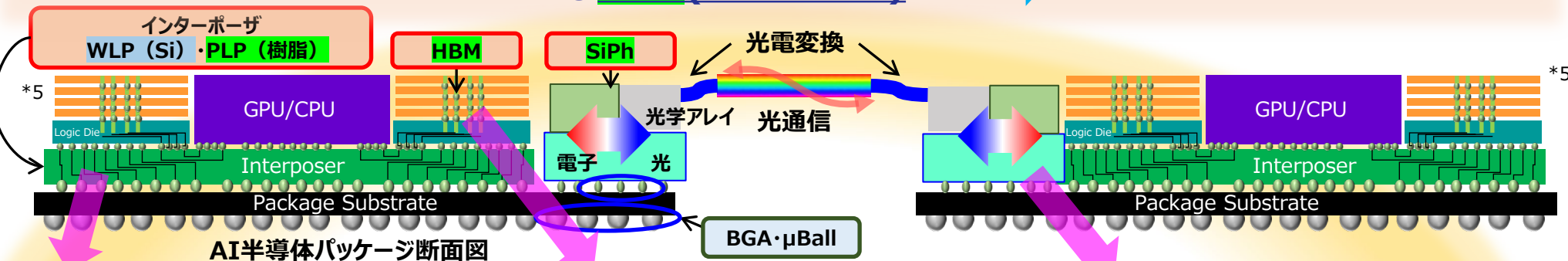
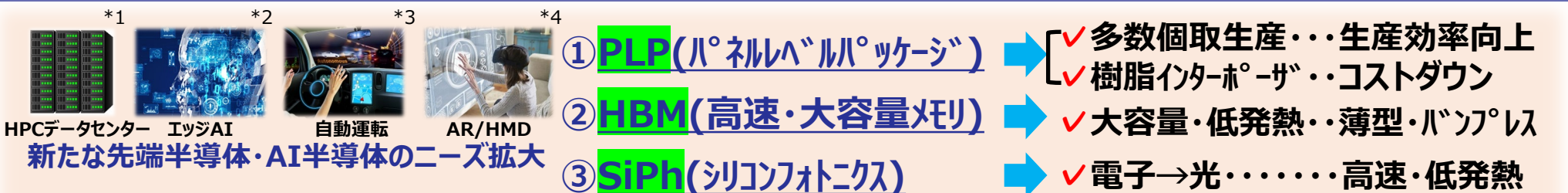
1．グローバルニッチトップを目指す A I メカテック	P.3
2．次なる成長ドライバー	P.4
3．長期経営ビジョン	P.6
4．第一次中期経営計画概要	P.7
5．第一次中計期間の主な取組み	P.9
6．キャッシュアロケーション方針	P.11

3

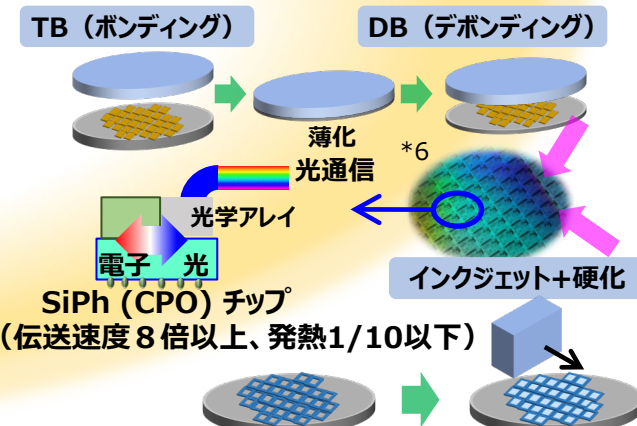
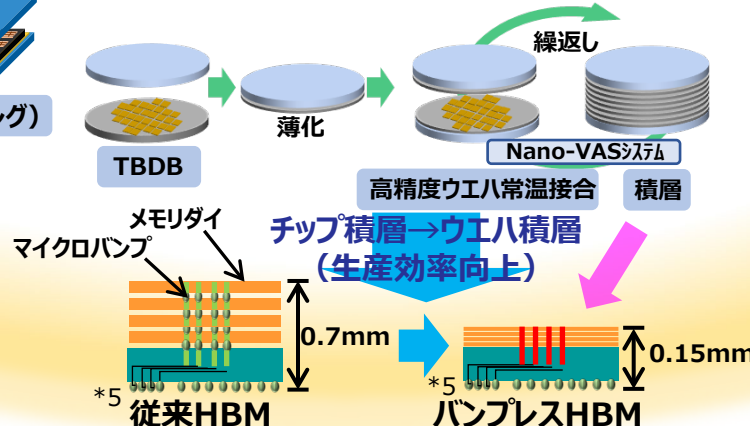
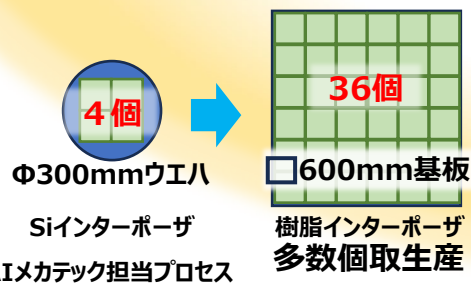
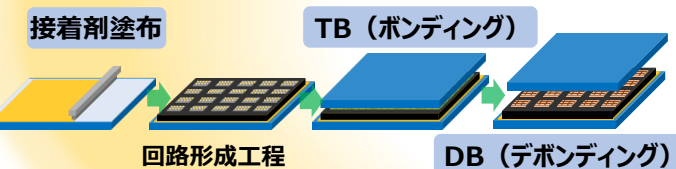
3



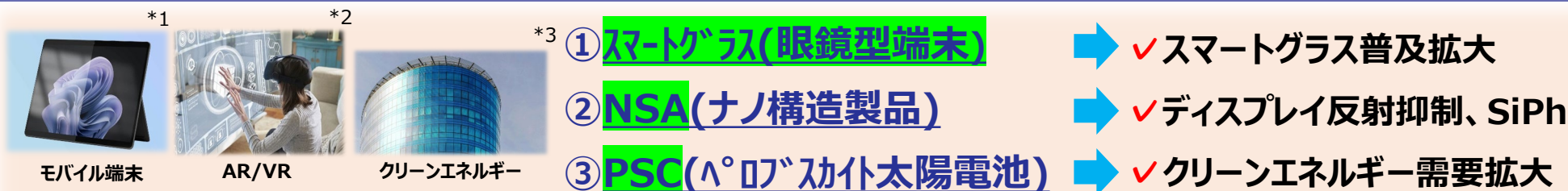
TB/DB 先端半導体の需要拡大と先端パッケージ技術の進化を捉えた新事業領域の展開



① **PLP**向けNew TB/DBシステム ② **メモリ**向けNew TB/DBシステム
HBM向けNano-VASシステム ③ **SiPh**向けNew TB/DBシステム
SiPh向けIJPシステム

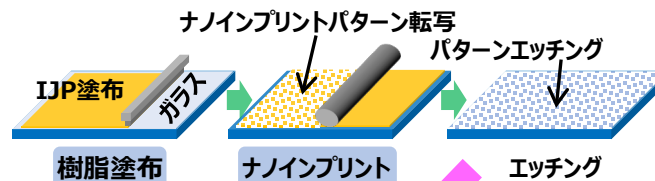


IJP + NIP 空間コンピューティング技術進化と光通信ネットワーク進化の動きを捉えた新事業領域の展開



空間コンピューティング技術進化→多様な場面でARが普及

① **スマートグラスマイクロディスプレイ封止Line** ② **NSA向けIJP + NIPシステム**
スマートグラスウェーブガイド製造システム

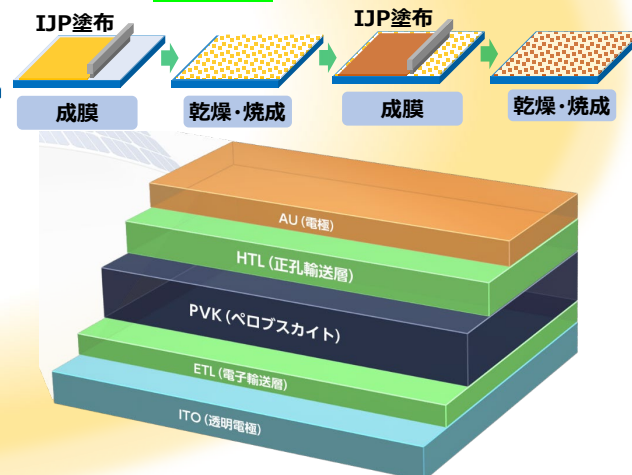
光回折式ウェーブガイド
(軽量・高効率・高画質)

AGG無



(例) AGG(アンチグレアガラス)

AGG有

表面ざらつき
約1/6③ **PSC向けIJPシステム**

PSC構成例

: AIメカテック担当プロセス

「モノづくり力強化」「社会ニーズに即した事業領域の拡大」「お客様とのリレーション強化」による持続的成長

経営理念

「先進・革新技术で
未来を創造」

Create the Next by
Advanced and Innovative
technologies

経営方針

- ✓ 「モノづくり力強化」 お客様の要望を迅速に具体化し、他に先んじて高品質な製品を提供する、不断のモノづくり力強化
- ✓ 「社会ニーズに即した事業領域の拡大」 半導体・光学系デバイス分野の技術革新を捉え、お客様や事業パートナーとともに、当社コア技術を活かし、社会に求められる新たな用途、事業領域を開拓
- ✓ 「お客様とのリレーション強化」 きめ細かなLCS（ライフサイクルサポート）活動によるお客様の満足度向上

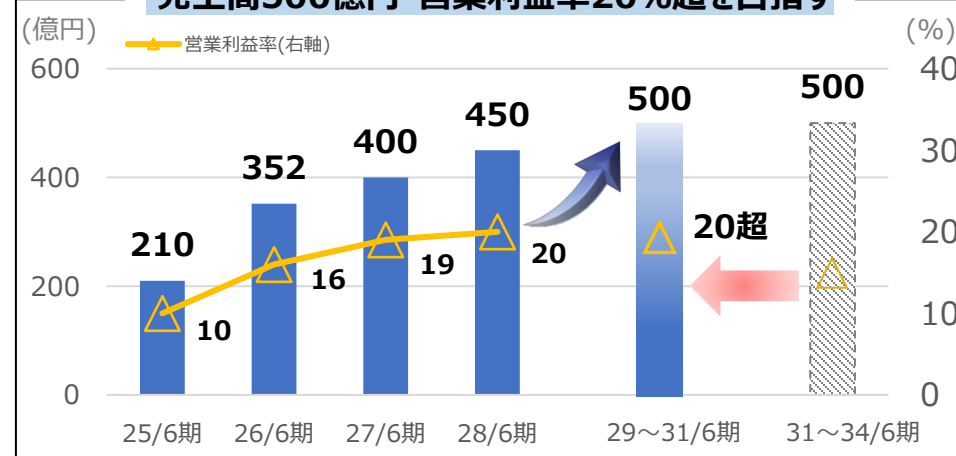
基本戦略

- ✓ A-PI戦略や、協業・M&Aなどによる、**事業領域拡大・持続的成長**
※A-PI(Advanced Process Integration)戦略
- ✓ モノづくり力強化による、収益力向上
- ✓ サステナブル経営推進による、企業価値向上

当社のありたい姿

- ✓ お客様に、確かなソリューション提供力を評価・支持され、新たな取り組みにあたり、常に1番に声がかかる会社
- ✓ 半導体、光学系デバイス分野におけるグローバルニッチトップの会社
- ✓ 従業員がプライドを持って能動的に働き、自らの成長、仲間の成長を実感できる会社
- ✓ 人々の生活を、より安全・安心・便利で豊かにすることで、社会に貢献し続ける会社

売上高500億円・営業利益率20%超を目指す



グローバルニッチトップのポジション確立と、売上高450億・営業利益率20%・ROE30%以上の達成

定性目標

✓ グローバルニッチトップのポジション確立

✓ 次なる成長ドライバー事業の創出

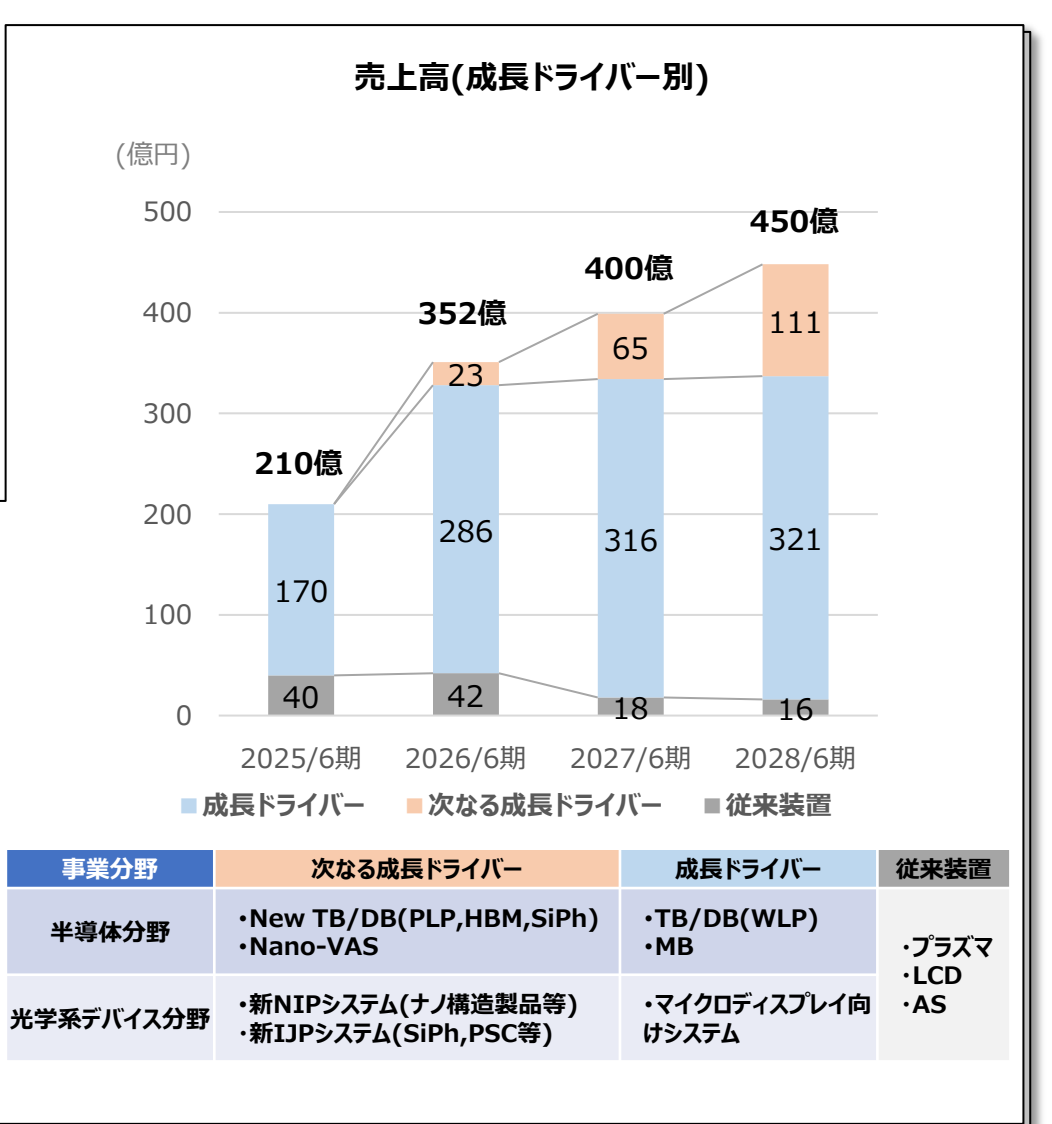
✓ 持続的成長の源泉となる収益力向上

✓ 持続的成長を支える経営基盤整備

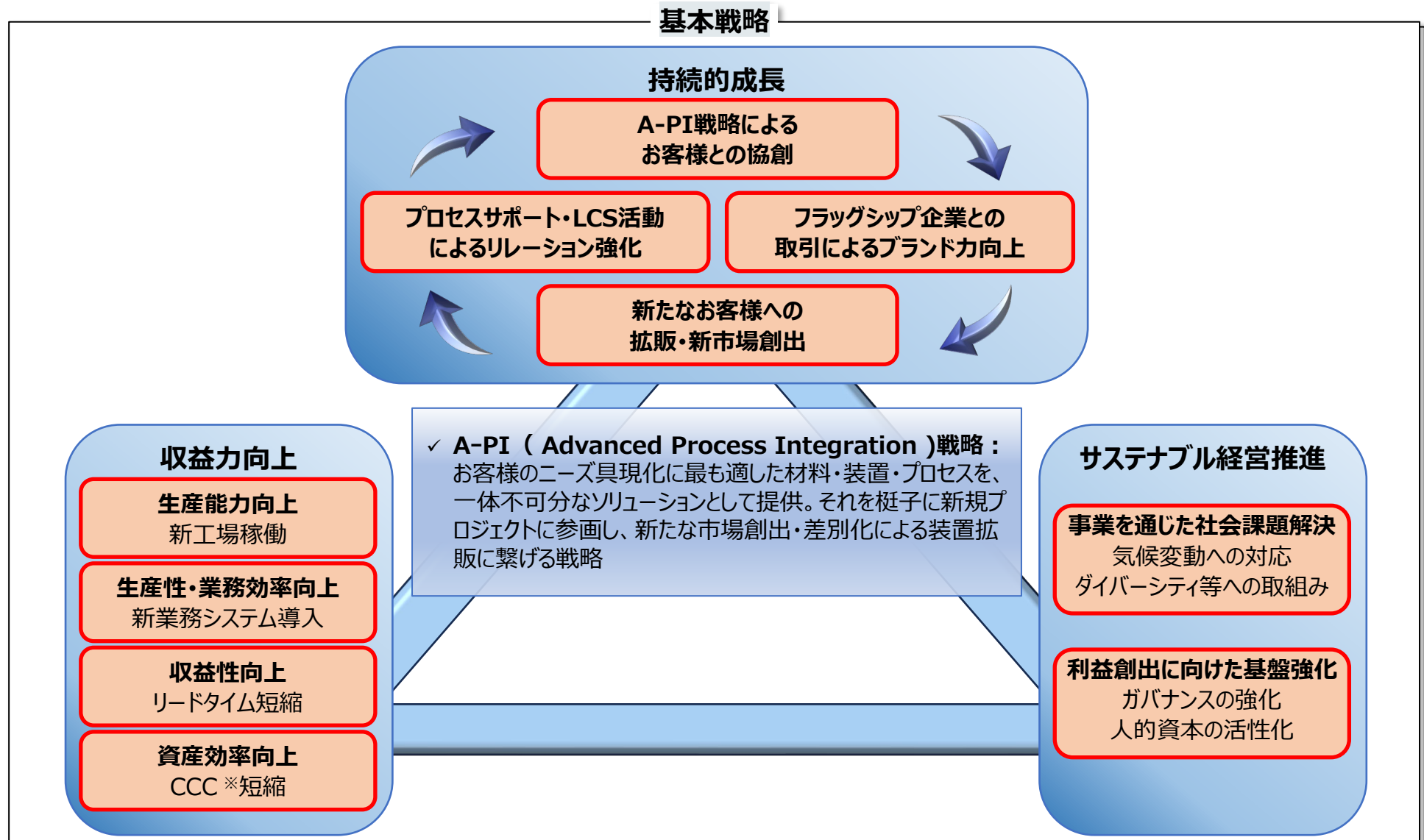
✓ 持続的成長を牽引する人財活性化

定量目標

売上高(セグメント別)・収益指標 (単位：億円)				
	2025/6期	2026/6期	2027/6期	2028/6期
売上高	210	352	400	450
半導体関連	195	312	360	388
I J P / L C D	15	40	40	62
営業利益（率）	21(10.0)	58(16.5)	76(19)	90(20)
R O E（%）	3.1	28.1	30以上	



目標達成に向け、持続的成長を支えるサイクル、収益力向上、サステナブル経営を一体で推進

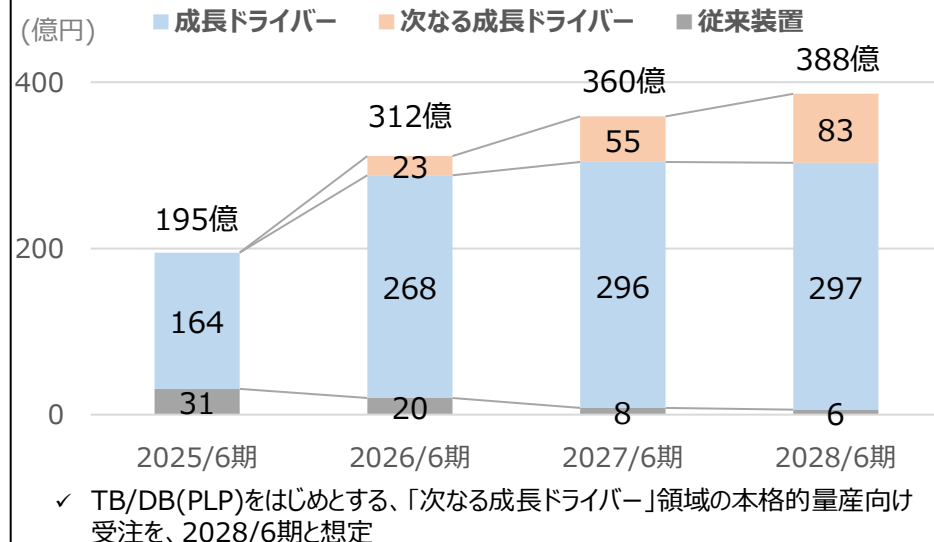


量産投資ニーズの着実な捕捉と、お客様との協創による先進的ソリューションの開発・新市場創出

半導体分野

- TB/DB(WLP)
 - ✓ フラグシップ企業関連向けの円滑な出荷、装置立上げ
 - ✓ ブランド力向上・新機能提案による新規拡販
- TB/DB(PLP、HBM、SiPh)
 - ✓ パイロットシステム受注先(フラグシップ企業等)における着実なプロセス評価対応、量産向け受注確保
 - ✓ 受注実績を活かしたデモ対応強化による新規拡販
- はんだボールマウンタ
 - ✓ A I 用先端半導体向け仕様の確立による拡販
- 米国等における販売・サポートチャネル確立
 - ✓ お客様の投資計画を踏まえ、アライアンスによる進出検討

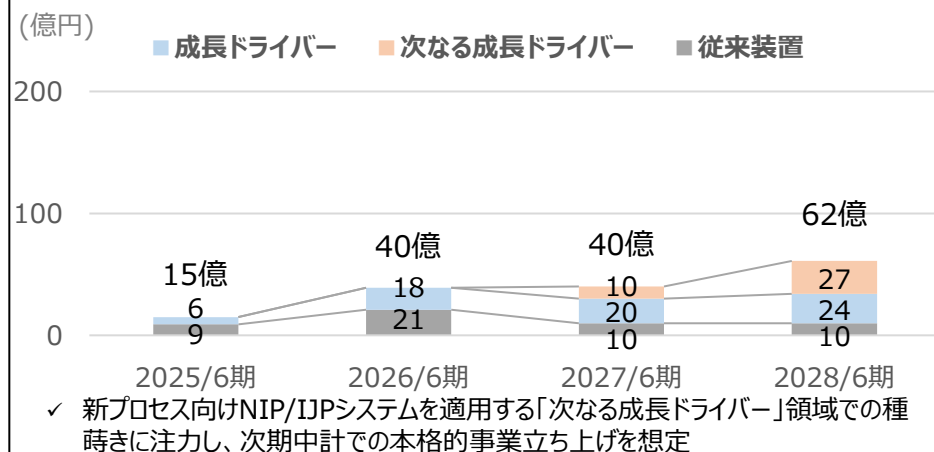
半導体分野 売上高



光学系デバイス分野

- マイクロディスプレイ向けシステム
 - ✓ デファクトスタンダード技術を梃子とする、最終デバイス市場拡大に沿った投資需要の着実な捕捉
- 新プロセス向けIJP/NIPシステム
 - ✓ A-PI戦略展開による多角的な新プロセス開発・提案による、新規プロジェクト参画、受注確保
 - ✓ ナノ構造製品(AGG等)・SiPhデバイス・PSC・ウェーブガイド向け新プロセス開発、パイロットシステム受注確保、量産プロセス評価対応

光学系デバイス分野 売上高



新工場の円滑な立ち上げ、リードタイムの短縮などにより収益力を向上

収益力向上

生産能力向上

- ✓ 新工場の円滑な立ち上げ
- ✓ マルチベンダー体制の構築
- ・組立委託先/完成外注先の拡大
- ✓ 多能工化推進による柔軟な生産体制拡充

生産性・業務効率向上

- ✓ 新業務システムの導入
- ・生産管理、財務管理、購買管理の効率化
- ✓ IT基盤の整備
- ・データの見える化、クラウド化推進

収益性の向上

- ✓ リードタイムの短縮
- ・内製化、協力会社との一体運営推進
- ・装置設計標準化推進による製造性の向上
- ・現地立ち上げ能力向上による作業時間短縮
- ✓ 装置横断的な部材調達推進

資産効率の向上

- ✓ 運転資本のコントロール
- ・CCC短縮への取り組み推進

サステナブル経営の推進 ※主要な取り組み

事業を通じた社会課題解決への貢献

- ✓ 気候変動への対応/地球環境の保全・環境負荷軽減
- ・専任組織を設置してのサステナビリティ環境推進体制の強化
- ・太陽光発電設備増設による再生可能エネルギー活用拡大
- ・省力化設備導入による工場省エネ化
- ・水資源循環機能付装置導入による環境負荷軽減
- ✓ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン
- ・女性管理職比率向上に向けた基盤整備
- ・海外人財の正規社員採用促進
- ・定年後処遇の選択肢多様化

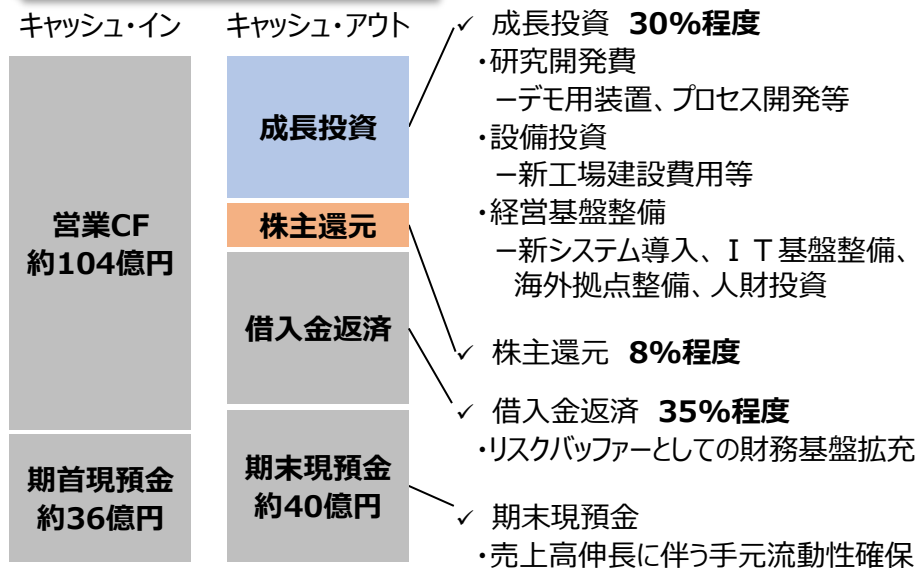
利益創出に向けた経営基盤の強化

- ✓ ガバナンスの強化
- ・リスク/コンプライアンス委員会による重要リスクの把握、対応の徹底
- ・任意の指名委員会設置による持続的経営体制整備
- ✓ 人的資本の活性化/心身の安全衛生
- ・社内公募制導入による組織活性化と従業員モチベーション向上
- ・教育/研修施策の増強による人財能力向上
- ・安全で健康的な職場環境整備によるエンゲージメント向上

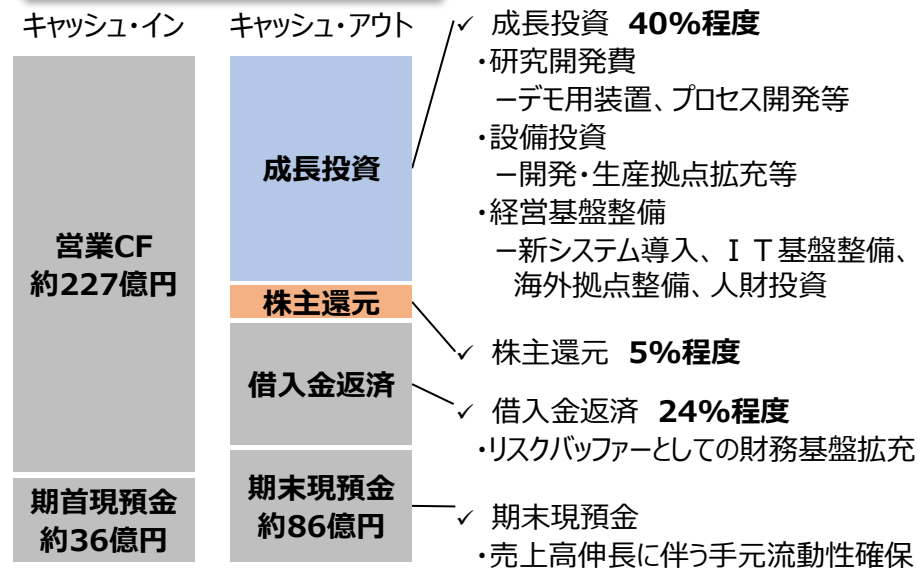


企業価値向上に向けた成長投資、財務基盤拡充とのバランスを勘案した、安定・継続的配当

2026-28/6期 当初計画

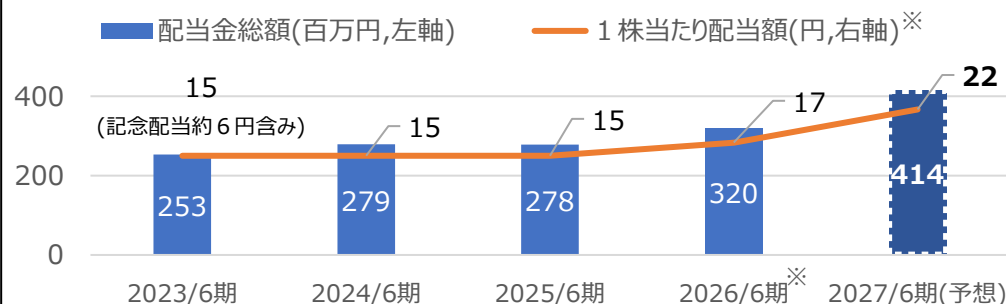


2026-28/6期 見直し計画



※株主還元の配当金は、各期の対象利益ベースで記載

株主還元方針



定額による安定・継続配当

中期経営計画
DOE2.5%程度

- ✓ 配当による株主還元
- ✓ 業績や成長投資に必要な内部留保の充実などを総合的に勘案し、安定かつ継続的に配当
- ✓ 株主資本配当率(DOE)2.5%程度を目安として実施

※ 1株当たり配当額は2026年4月1日付実施の株式分割を考慮
 ※ 2026/6期に係る配当額は第10期定時株主総会にて承認予定



“Create the Next by **A**dvanced and **I**nnovative Technologies”

ご注意事項

本資料に記載されている戦略、目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。